


<p>松山観光ボランティアガイドの会</p>  <p>おいでんか通信</p>	<p>事務局</p> <p>松山市大街道 3 丁目 2-46</p> <p>TEL 089-935-5711</p> <p>ホームページ</p> <p><a href="http://Matsuyama-guide">http://Matsuyama-guide</a></p>	<p>号外第 26 号</p> <p>2019.12.15</p>
		<p>発行責任者 大西修史</p> <p>編集 広報事業部</p> <p>部長 都合憲一</p>

## 令和元年度第 2 回定例全体会議報告

開催日：令和元年 11 月 21 日（金） 14：00～16：00

場所：松山市総合福祉センター5F 中会議室

出席者：48 名

司会：辻三恵子



### 1. 開会

大西会長より「夏には熱中症に注意しましょうと言っていますが、冬ですので風邪とインフルエンザに注意をしましょう」との挨拶がありました。

### 2. 研修会

講師：花岡直樹氏（(株)花岡直樹建築事務所 代表取締役）

演題：「天守廻りの再建築物の登録を記念して」

150 枚のスライドを利用したわかりやすい説明にみんな納得でした。

まず、「指定文化財」「登録有形文化財」「登録文化財」に当てはまる建造物の基準」について説明があり、続いて松山城に関する解説がありました。中でもビックリしたことは、松山城の天守は最初から 5 層ではなかったという花岡氏の見解でした。今までの通説は何だったのでしょうか。見直しが必要になりそうですね。

また、首里城の火災に関連して、松山城の防災状況について話がありました。平成 26 年から 29 年に、8 億円の費用をかけ防災工事が行われました。この工事により、600 トンの水を備え、放水銃も 65 mm の口径から 35 mm へ交換され、誰でも消火できる体制になっているとのこと。「ただし、こういう防災施設は 1 回も使われずに耐用年数を迎えられたら最高の結果です。」



最後に、我々ガイドに対して下記のアドバイスの言葉を戴き講演を終了しました。

①知っている知識を全部しゃべらない。

②一番の目的は、案内した建物や史跡を、そして松山を好きになってもらうこと。

## 備中松山城へ交流・研修旅行に行ってきました（(2019 年 11 月 20 日、参加人数：41 名）

研修旅行記は「おいでんか通信 1 月」にてご報告致します。



いよいよ登城開始です。



お城の案内板の上には、お城の模型が。

## 駅からウォーク「秋の石手川を上流へ。史跡めぐり、市坪から道後を歩く」

渡部昭弘

予約していただいたお客様が全員そろって 10 時に予定通り市坪駅を出発しました。

天気は快晴、微風の願ってもないウォーキング日和の中リーダーガイドの森亮一さんのガイドで石手川沿いを歩き続けました。途中には大きな銀杏の木の黄葉や皇帝ダリアの群生などを楽しみました。16 名のお客様は最初から最後まで遅れる方もなくしっかりした足取りでした。



森さんから「今回はみんなで俳句を作り道後湯築城にある俳句ポストに投句をしましょう」と提案があり投句用紙を持って歩きました。何人かの方が投句をされて、ウォーキングだけではない楽しみも味わって頂けたと思います。

“小春日に皇帝ダリア仰ぎ見て” こんな句ができました

〈メモ〉道後温泉第 4 分湯場の手湯は、人が近づくとセンサーが働き熱いお湯が出るようになっていましたが、現在は出しっ放しになっています。